

恵庭市長定例記者会見（R5. 10. 16）



お忙しい中、お集まりいただきまして、ありがとうございます。

本日は、第3回定例会が終了しましたので、議会を終えての所感、並びに今後予定する事業などについて発表させていただきます。

今議会におきましては、「令和5年度 一般会計補正予算」などについて審議いただきました。その全ての議案についてご承認いただきましたことに加えて、令和4年度決算を認定いただきましたことに、まずもって感謝いたします。

また、一般質問や各常任委員会の中で、市政の各般にわたる課題に関し、ご提言をいただきました。

これら議会からのご指摘を大切にしながら、さまざまな施策の推進を図って参ります。

それでは、本日の発表内容を述べさせていただきます。

初めに、「木育ファーストトイ事業」についてであります。

この事業は、森林環境譲与税を活用しまして、今年度より開始した事業であります。令和5年4月以降に生まれ、恵庭市で3か月～4か月健診を受診する時にお子様とその保護者に対して、出生された記念の品として市内で製造した「森の輪」と「積み木」を贈呈しています。

8月23日に寄贈式を行い、同日の健診から贈呈を開始したところであります。今後につきましては、毎月実施されます健診時に贈呈を行い、木に親しみをもち、多くの皆様に喜んでいただける事業として継続して参りたいと考えております。

2点目は、「えにわ応援商品券の送付開始」についてであります。

この事業は、光熱費高騰の影響を受けた生活者に対する支援として、令和5年7月31日時点で住民基本台帳に登録されている全ての市民に対し、市内店舗で使用できる商品券を配布するものです。商品券は1人当たり2,000円分ですが、すべて特定店舗で使用した場合は最大2,400円分使用できます。

10月上旬から全市民に対し、順番に郵送されており、届き次第、令和6年3月31日まで登録店舗で使用できますので、ぜひご利用ください。

3点目は、「企業立地動向調査の実施」についてであります。

この調査は、本定例会の初日に成立した補正予算により実施するもので、全国の対象企業に対する立地動向調査を行うことで、新たな工業団地の整備検討に資する情報の収集、分析を行うことを目的としております。

実施内容であります。まず、企業立地動向調査委託は、半導体関連を除く全国の製造業等のうち、北海道に拠点のある企業を抽出し、抽出した約2,000社に対し、本市への立地意向について調査を行います。

また、半導体関連企業立地動向調査委託は、半導体関連企業として抽出した約4,000社に対し、本市への立地意向について調査を行います。

4点目は、「はなふるでの秋のイベント」についてであります。

秋を代表するイベントの一つである「ハッピーハロウィン」が、今年も「はなふる」で開催されます。

恵庭青年会議所を中心とした実行委員会が企画する「えにわハッピーハロウィン2023」が10月28日に開催されます。会場では、恵庭市内で栽培されたカボチャを使った、ジャックオーランタンが装飾されるほか、ハロウィンマルシェ、ステージイベントなど、子どもから大人まで楽しめる催しが行われます。多くの市民の来場をお待ちしています。

5点目は、「新型コロナウイルスワクチン接種」についてであります。

9月20日より開始された「令和5年秋開始接種」につきまして、本市におきましては8月20日から順次対象者へ接種券を発送いたしました。

国からのワクチン供給状況に応じて予約受付を行っており、医療機関での個別接種に加え、集団接種や巡回接種を実施することとし、希望される方が早期に接種が可能となるよう接種体制を構築しているところであります。

本年度末まで、ワクチン接種が行われますので、新型コロナワクチン接種のご検討をお願い申し上げますとともに、引き続き、広報えにわやホームページ等で情報をお知らせして参ります。

以上で、私からの発表は終わらせていただきます。

引き続き、教育長からの発表があります。

教育長から発表

私からは、「学びの森午後の開設」についてご説明いたします。

令和5年4月に北海道文教大学内の協力のもと学内に開設した「教育支援センター 学びの森」についてであります。これまで、午前中のみの開設でありましたが、利用者から午後の開設について要望が多かったことから、本年10月より、午後の運営を開始いたしました。

「学びの森」は市教委の指導員の他、多くの文教大の学生ボランティアにより支えられており、8月時点の児童生徒の利用登録者は35名、通級状況は、4月から8月までの延べ人数が、592名、1日当たりの平均利用人数は約8名という状況であります。

午後については、水曜日を除く週4日、教科学習や体験活動を行うこととしております。

●質疑応答

発表項目について

（記者）企業立地動向調査の実施について、受託事業者を決めるにあたって、どのような方式で決定し、いつ頃契約するのか。

（課長）既に契約済み。資料がないため、詳細は別途お知らせする。

（記者）企業立地動向調査の実施スケジュールについて、具体的な時期はいつ頃か。

（課長）年内に調査票の送付、その後は年度末を目途に個別訪問を行う予定。年度末には集計結果を公表できるよう準備を進めたい。

（記者）企業立地動向調査を踏まえて、工業団地の設置、開設も検討するのか。

（市長）検討するためのひとつの資料として、今回の調査を行うもの。個別の問い合わせ等もきているが、どのような業種なのか等を調査したいため、今回の補正予算により実施し、基礎資料とする。

その他について

（記者）9月21日に、市内の牧場に関する障がい者虐待の訴状が届いたと思うが、市長は内容などを把握、確認したのか。

（市長）大まかであるが、確認した。

（記者）内容を見て、どのように受け止めているのか。

（市長）裁判になっているので、内容について精査をしているところ。相手方の訴えをしっかりと精査した上で、事実と異なる点があれば、判断していきたいと思っているが、今の段階で話せることはない。

（記者）市としても訴えていきたいことはあると思うが、具体的に何を訴えていきたいのか。

（市長）市のホームページでも公表しているとおり、裁判に入ったので、それぞれの主張を述べ合う中で少しずつ明らかになると思う。裁判の状況等については、お知らせできる時があれば、議会を通して市民の皆さんへお知らせするが、まだ第1回目の公判も行われていない段階。その中身について話しをするということは今の段階ではできない。市民の皆さんにはご理解いただきたいと思っている。

（記者）調査委員会が設置されて調査が行われていると思うが、いつごろ公表するのか。

（市長）調査委員会は内部によるものであり、この問題に対しての事実関係を確認するもの。これからの裁判で主張していくための資料になると考えているため、公表する予定はない。

（記者）裁判になるということは、当該牧場の調査について忖度のようなものがなかったということか。

（市長）裁判で主張していくものについては、今の段階ではお話しできない。

（記者）忖度があったなら裁判にならないと思われるが。

（市長）それらを精査しているところ。来月にも第1回の公判があるので、その中で明らかにしていきたい。

（記者）市長は裁判に出席されるか。

（市長）出席予定はない。

（記者）裁判の結果などについて、市民に対して説明する場面はあるのか。

（市長）必要性があれば、設けたいと考えている。ただ、裁判は公開されるので、双方がどのような主張をしているのかは見てもらえると思っている。

（記者）個別に説明会や報道向けの会見などを行う予定はあるか。

（市長）現段階では考えていない。但し、必要があれば行う可能性もある。今の段階では何とも言えない。

（部長）広報やホームページを活用しながら、その時点でお伝えできることは、お知らせしていきたいと考えている。

以 上